

1 人口保持

【希望どおり子どもを産み育てられる環境】

保育料の無料化
高校までの無料化（医療費、教育費）
高齢者だけでなく、若い人にお金を使う 例：保育料無料化
2人子以上政策（3人目から補助金、出産年齢によって補助率を設定等）
産休・育休中の給料減額分の補てん
「森の幼稚園」のような取り組みを倉吉でも！
保育料を下げるだけでなく、倉吉で子育てをしたいと思いますような保育の質を！
子育てに係る不安の解消が必要 例：気軽に子どもを一時預かり(1日単位で)してもらえらるような施設をつくる
初出産の年齢に応じて保育料の無料化
保育に力を入れ、ベッドタウン計画 …仕事は市外でも住むのは倉吉
子どもを預ける所が少ない。保育園は働いていないと預けることができない。
病児病後児保育の規模拡大。
子育て支援を上手くPR。伝え方が下手。見る人しか見ない。
市役所の中庭で保育園
欧州では子育て支援に力を入れ、自然減は解消している。
晩婚化対策と出生率を上げるために、大規模な街コンを開催するのも良いのでは。
もっと子育てにやさしいまちづくり。
雨の日にも外へ出ていける子供の楽しめる場所。
子どもをあずけられる場所。「保育」ではなく、「少しの間だけ」あずけられる場所。
子どもを産み育てることへの不安が和らげられれば、子育てへの意識が弱くなってはいけなくて、あくまで和らげる。
1日、時間単位で気軽に子どもを預けられる施設が必要。
保育料の無料化、既婚者減免等が、他の市町村の人から見て魅力的に映るのではないかな。
アーケード：雨の日に出かけられるところ、雨天時に子供が遊べるところ
打吹公園の整備：動物とのふれあいができるように
子育て（結婚）がしやすいまちへ
・既婚者の税金を安く
・子供の数に応じて減税 …滞納者からの徴収はきっちり
・保育園の無償化
・産休・育休中の収入減を補助金で補填
子育てしやすい環境 …子育てに係る経費が多く、楽しく生活できないことも。雨の日に家でしか遊べない。
自治会等を通して、子どもと高齢者が気軽に触れ合える環境があれば、子どもは新しい遊びの発見があり、高齢者も健康に過ごせるのでは。（若い人の自治会への興味も増すのではないかな）
保育料の無料化等、特化した施策の方が話題性があり次の施策につながるのではないかな。
子どもを育てるのにやさしいまちだと人口増につながるのでは。
若者・子育て世代に対する支援の強化
→1人目の子どもを早く産む仕掛け。複数の子どもを持つ人へのインセンティブ
託児施設を充実させ、結婚・出産したら離職せざるを得ないという現象をなくす。
高齢者の富裕層への年金を減らして医療費自己負担分を増やし、その分を託施設～高校までの授業料等無料化する。塾や習い事に対しても、現在の医療費と同様に半分以上は公費負担し、子育てに係る負担を下げる。
屋内の遊戯場で子どもを預かる。病気時に預かる施設。

【結婚しやすい環境づくり】

独身税or既婚者減税（年齢等で税率変更）
街コン、街バル(共通チケットで複数の飲食店をめぐる)の開催
高齢者に対する支援が多すぎる！ もっと若者に向けた施策を！
例：婚活、県外の人との交流(大規模な合コン、お見合い等)、県外女性と市内男性の出会いの場
出産、結婚にインセンティブを。結婚に踏み切れない2人への後押しとなるような補助等が必要。
晩婚化対策と、出生率を上げるために、大規模な街コンを開催するのも良いのでは。

【移住者の受入支援(UJターン)】

空き家を再利用し、移住者に提供。改築に補助金を出すなど。
何か理由がないと帰れない
Iターン・Uターン者に対して免除される奨学金の設立
Uターンしてきた(移住してきた)人たちに対する何かしらの減税制度を。
IJUターン者への各種免除 例：土地の購入費、奨学金等
帰ってきて成功している人の紹介など、イメージを示す必要がある。

【離婚・婚外子等の育成支援】

【住環境】

高城や北谷、関金に宅地を造成し、人を呼び込む。

地域の過疎率・高齢化率に応じて減税することにより、過疎地への移住・定住を促す。

住宅建築に補助金を

中山間集落・地域の維持。過疎・高齢化率に応じて減税する、宅地の造成等を行う等して移住定住を促進。

【その他】

市外、県外に出ていく人…倉吉に無いものを求めて出ていく

国外からの移民誘致(東南アジア)

所得を上げるか、お金がなくても暮らせるような仕組みが必要

収入が少なくても暮らせるような仕組みが必要。

2 経済の成長・発展

【農林水産業をはじめ新しい産業分野を活性化】

市が農産物を直接買い取り、県外産のものよりも安く販売する。
既存農家の収入アップ、県外から新規就農者の呼び込みにつながる。
農業で生活できる仕組みが必要 例:ブランド化、無農薬化、大規模化、効率化、イノベーション
農業で生活できる仕組み…JA等を通さず、ブランド化したものをネットで直接販売する仕組み→ICT化や指導を市で行う
農業で生活できる仕組み…農業は都市部からすれば魅力的
農業の後継者育成。
農業でも暮らせる、儲かる仕組み。 例:ブランド化、品種開発、保育園から本気の農業を学ぶ等
山上憶良のオクラをつくってほしい。 ハートのオクラ。
農業で新たな品種やブランド化できるものをつくる。
スイカ…大栄、梨…東郷というイメージで、倉吉で思い出される農産物がない。
農業がもっと儲かると良い。都会の人はゆったりと暮らしたいと思って帰ってくる人もいると思うので。
無農薬、無堆肥など、本当に安全な食べ物が倉吉でできるとうれしい。
ブランド化や無農薬化など、他との差別化を図り、農業をどうにかする。
何泊もできる計画で、都市部の人への農業体験。

【企業誘致の継続推進】

企業誘致…長く働ける、若者の求人
企業誘致…製造業だけでなく、様々な分野の企業が必要。県外で働いていた人が就職できるように。
職が重要！ …職種幅が狭く、選べるほどない。
大学で学んだ分野を活かすことのできる職が少ない。グッスマの企画部門を持って来るなど製造業以外のものが必要。
起業支援
大学を卒業してから倉吉へUターンする場合、職種が少ない。
特に若者の雇用の受け皿として、IT系企業の誘致

【誘致企業のフォロー】

倉吉市限定のくらすけくん擬人化フィギュアをつくる
フィギュアロード
2番目や類似を狙った施策ではなく、目立つことが必要。フィギュア工場等、全国で1カ所という強みを活かす。

【地元企業のフォロー】

街コン、街バル(共通チケットで複数の飲食店をめぐる)の開催
「中部ウォーカー」のような冊子(フリーペーパー)をつくり、食べる・遊ぶ(子ども)・飲むを掘り下げる。

【交通・物流の潜在力の引き出し】

全市道をアーケード化、アーケードの上にはミニモノレール(遊園地にあるような)を走らせる
・メリット:雨にぬれずに移動できることから歩く人が増え健康に、子どもを屋外で遊ばせられる、 観光面(イルミネーションにより暗い山陰を明るく→太陽光、LED、振動、雨発電等)、 雨発電により雨を売りにする!
・デメリット:お金がかかる
「バス停から目的地が遠いから歩かない」というのは問題。→バスしか通れない道をつくる等
歩道、公道をセグウェイが走れるように特区にする
倉吉を中部の夜のまちに。バスの終了が早いので、気軽に飲みにいけない。地区ごとに1本でも夜にバスが必要。
ベッドタウン化計画。鳥取・米子へ1時間程度で行けるという利点を活かす。
普段の日常生活に不便はなく、特別な非日常は市外へ行くと割り切る。

【観光客等の誘致促進】

(来てもがっかりするから)赤瓦を広げる、お店を増やす。
関金温泉にもっと魅力を。県外から人が呼び込めるものを。
公営娯楽施設の設立 例:天神川沿いに競艇場、キャンプ場等
観光のリピーター増加につながる仕組み
簡易宿泊施設をつくる

【買い物する場所、店舗等について】

刺激がない→イオンではない、別のものをつくる(コストコ、アウトレット等)
10年前よりも退化。無くなったものが多い。
ラウンドワンのように、ボウリングやバドミントン、スポッチャ(いろいろなスポーツができるアミューズメント)が必要。
総合スポーツ施設。
中華街の建設
公営娯楽施設の設立 例:天神川沿いに競艇場、キャンプ場等
娯楽施設(ラウンドワン等)の誘致…看護大学もできることから、若者が遊ぶ場が必要!
関金に競馬場
倉吉の商業施設に魅力を感じない …イオン等の誘致ではなく倉吉の良さを活かし、新たな「何か」をプラス
『ちょっと』遊びに行ったり、『ちょっと』食べに行くようなところがない。
市独自のポイントカード
自然を活かして「キャンプ場」をつくってイベントを行う。
外食する際の施設に限られるため、横浜中華街のような「フードアーケード」をつくる。
魅力的な商業施設がない。
土日に市内で1日過ごせるようなまちに!
→商業施設、娯楽施設を。立地は良いのに、どうしても鳥取・米子に行ってしまう。
若者の遊べる場所、交流できる場所を増やす。

【働く場(新規も既存含めて)、働き方、雇用の形態等について】

産休・育休中の給料減額分の補てん
所得を上げるか、お金がなくても暮らせるような仕組みが必要
若者の可処分所得の増加を!
若者のリトライを支援する仕組み。
現実的に考えると、魅力的な商業施設や企業(特に若者にとって)は来ないことから、今あるものを掘り下げる、未発見のものを発掘することが必要。
介護職をもっと魅力あるものに →仕事はあるが、若者はその仕事を選ばない。
終身で働ける仕事、企業誘致の促進
定住のための仕事 …一度大学等で県外へ出た人が魅力的と思える仕事があるか?
若者の経済的負担の削減が必要。 例:補助で収入を増やすor支出削減する

【その他】

全市民を対象にした給食制度(3食)
・メリット:買い物・作る時間の削減、雇用創出、地産地消、健康管理→医療費削減、配送を通しての安否確認
・デメリット:人間味がなくなりそう、アレルギー等の個別対応が必要
米軍基地の誘致(そこまで犯罪率は高くない)

3 人の活躍

【男女の働き方を改革することにより活躍の機会を充実】

【少子化対応や移住促進につながる教育の質的充実】

看護大学を活かす

塾や大学等、教育費がかかる。

農業でも暮らせる、儲かる仕組み。例:ブランド化、品種開発、保育園から本気の農業を学ぶ等

【元気な高齢者、頼られる高齢者の活躍】

高齢者が多い集落の維持・活性化をどうするか。

自治会等を通して、子どもと高齢者が気軽に触れ合える環境があれば、子どもは新しい遊びの発見があり、高齢者も健康に過ごせるのでは。(若い人の自治会への興味も増すのではないか)

【その他】

人材育成など、ソフト面の強化

高齢者の増加に対して、介護ビジネスへの外国人(東南アジア等)雇用

外国人の移住

4 地域の未来

【各地域の現状や資源を踏まえた戦略策定】

倉吉市…穏やかな人が多い
生活に必要なものはそろっているが、何をしても中途半端。
県外からきて思った。ドライブのたのしいまち。鳥取・米子に行く道楽しい。
看護大学を活かす
雨が多い…屋内で遊べる場所(アーケード復活)
不便 例:倉吉市内で遊べない。雨天時に行くところがない。
県外、市外の人からも魅力あるまちにするために今あるものをもっと充実させてほしい 例:赤瓦、打吹公園等
雨の日が多いということを活かせるといい。

【弱体化するコミュニティの強化】

高齢者が多い集落の維持・活性化をどうするか。
中山間集落・地域の維持。過疎・高齢化率に応じて減税する、宅地の造成等を行う等して移住定住を促進。
地区公と自治公の連携強化、地区公主体での地域づくりを促進するため、地区公を企画振興部へ。
若しくは各地区公へ地域づくりを担当する市職員を配置(集落支援員)
自治会等を通して、子どもと高齢者が気軽に触れ合える環境があれば、子どもは新しい遊びの発見があり、高齢者も健康に過ごせるのでは。(若い人の自治会への興味も増すのではないか)

【市の強みや固有の素材を国内外に売り込む】

市の一層のPRが必要 例:災害が少ない、高齢者が住みやすい等
県外の人からのイメージが悪い 例:暗い、怖い、仕事がない
「中部ウォーカー」のような冊子(フリーペーパー)をつくり、食べる・遊ぶ(子ども)・飲むを掘り下げる。
PRに力を入れるため、倉吉でしか手に入らないオリジナルグッズ作成
倉吉市限定のくらすけくん擬人化フィギュアをつくる
子育て支援を上手くPR。伝え方が下手。見る人しか見ない。
治安・水の良さ等住みやすいという声がある一方、魅力がないという声もあるため、PRは重要だと思う。
良い取り組みを上手く伝える技術が重要。

【地域を支えるリーダー育成や団体の連携】

人材育成など、ソフト面の強化

【その他】

所得を上げるか、お金がなくても暮らせるような仕組みが必要
収入が少なくても暮らせるような仕組みが必要。

5 信頼の行政

【税収減に伴う公共サービスの維持】

10年後は中部で合併しているかも？

公共サービスの質を高める → 公務員を増やす → 安定した家庭増 → 子ども増
⇔ 職員のやる気を出させる仕組み必要

市の各種サービスの質を高めることも効果的。

地区公と自治公の連携強化、地区公主体での地域づくりを促進するため、地区公を企画振興部へ。
若しくは各地区公へ地域づくりを担当する市職員を配置(集落支援員)

【公共施設・インフラの適正配置と維持管理】

雨が多い…屋内で遊べる場所(アーケード復活)

打吹公園…触れ合える動物をもっと充実させる

雨の日に過ごすところがない。…既存の公園等へ屋根を付ける

全市道をアーケード化、アーケードの上にはミニモノレール(遊園地にあるような)を走らせる

- ・メリット: 雨にぬれずに移動できることから歩く人が増え健康に、子どもを屋外で遊ばせられる、
観光面(イルミネーションにより暗い山陰を明るく→太陽光、LED、振動、雨発電等)、
雨発電により雨を売りにする!

- ・デメリット: お金がかかる

「バス停から目的地が遠いから歩かない」というのは問題。→バスしか通れない道をつくる等

【地域の人から頼られ、地域のための職員配置】

地区公と自治公の連携強化、地区公主体での地域づくりを促進するため、地区公を企画振興部へ。
若しくは各地区公へ地域づくりを担当する市職員を配置(集落支援員)

【選択と集中による予算配分と財源確保】

高齢者だけでなく、若い人にお金を使う 例: 保育料無料化

高齢者ばかりにお金を使い、子育て支援まで十分にできていない。その結果の少子化。

高齢者ばかりでなく、若者に向けてお金を使ってほしい

【その他】

全体的に

【総合的な観点で】

他市町村のやっていないことをする
無いものは多いが、きれいな空気、おいしい水、安全な環境等はある。 →田舎であればどこにでもある →選ばれる田舎になる必要がある！！
選ばれる田舎 …『一点突破』 例:子育てするなら倉吉、農業するなら倉吉... など、何か一つとびぬけることが必要！
倉吉は何をしても中途半端 例:商業施設、医療施設、保育施設等
県内で1番最初のものをつくるべき。他市町村と同じではダメ！
頑張ればできるけど、頑張らずにやりたい、頑張ってもできないと考えることが問題。
何か1つに特化した取り組みが必要。
一点突破！！ 農業なり子育てなり、まず何かぬきんでたものをつくる！
他の自治体でやっていないことをすることが重要。ほとんどの自治体が似たような人口減少対策をする中で、何か新しいことをして目立たなければ人は集まらず、出ていく一方である。
倉吉は穏やかな人が多く、生活に必要なものはそろっている一方、何をしても中途半端で刺激がない。
オンリーワン、ナンバーワンを目指す！
倉吉でしかできないこと、倉吉にしかないもの
他市(他県)のまねではなく、他にないものをつくるべき。オンリーワンで輝くものが欲しい。
日本全体で人口が減少する中、比較的優位に立つためには近隣市町村より手厚い支援をすべき。
今あるものを磨いてしっかり発信
ターゲットを絞り特化する！